

ぎかいだより



タイトル 「まるごと飛騨の日」地元食材を取り入れた給食と
地元生産者 和賀登章仁さんによる食育講座
撮影場所：朝日小学校 撮影日：令和4年9月8日

第49号
2022年11月1日
発行

題字 江名子小学校6年生 寺垣珂瑚さん
江名子小学校6年生から34点の応募をいただきました。



Contents

- P2** 新体制のスタート
P3 9月定例会の報告
- ・令和3年度決算審査
 - ・一般質問
 - ・議案審議ほか

- P11** 活動報告
- ・閉会中の活動

- P15** お知らせ・トピックス
- ・次回定例会の日程(案)
 - ・地域別市民意見交換会の開催ほか

表紙の**写真**を
募集しています!

詳細は裏表紙を
ご覧ください。

新体制のスタート

8月28日に執行された市長選挙で田中明氏が当選され、同日に執行された市議会議員補欠選挙で水野千恵子氏、片野晶子氏が当選されました。

定例会初日の9月2日の本会議では、國島芳明市長の退任の挨拶があり、水門議長が3期12年間にわたる市政発展への尽力に対し、お礼の言葉を述べました。

9月6日の本会議では、田中明新市長が、これからの市政運営に当たっての所信を述べられました。また、水野千恵子議員が総務環境委員会、片野晶子議員が産業建設委員会に所属することを決定しました。

そして、定例会最終日の9月30日の本会議では、副市長を2名体制とする議案を可決しました。



田中明新市長



國島芳明前市長



水野千恵子議員



片野晶子議員

令和3年度決算を審査

コロナ対応や除雪対応などに総額113億円余の補正予算
ふるさと納税22億円の収入

令和3年度の一般会計の歳入は591億円、歳出は539億円で、約53億円の黒字決算となり、実質収支は28億円となりました。新型コロナウイルス感染症対策や除雪対策等への対応のため、19回にわたり補正予算が編成され、当初予算より113億円が増額されましたが、国県の補助金等やふるさと納税の大幅な増収により、黒字決算となりました。

各常任委員会において新型コロナウイルス感染症が事業に与えた影響や予算と決算の連動など所管委員会としての共通の視点から論点整理を行い決算審査に臨みました。審査の結果、認第1号令和3年度一般会計歳入歳出決算及び認第5号介護保険事業特別会計歳入歳出決算は起立多数で、残りの認定案件7件は全員一致で認定すべきものと決しました。

決算審査(総務環境委員会)

ウィズコロナ社会、ポストコロナ社会を見据え、行政分野のデジタル化を進めるためには、自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)による、市民生活の利便性向上と事務の効率化が求められます。デジタル化によって、これまで職員が紙媒体でしか出来なかった仕事の軽減が図られ、その分市民へ奉仕することにつながります。また、コロナ禍により、人々のつながりやコミュニケーションも希薄化する中で、第八次総合計画にある地域課題の解決に向けて、大学と連携したまちづくりに取り組むことは、地域の魅力の創出につながり地方創生の観点からも重要な取り組みであると捉え審査を行いました。主な質疑は以下のとおりです。



情報処理システムのデジタル技術の活用について

問 デジタル技術の活用によって市民の利便性の向上や事務の効率化がどう図られ、成果がどういった形で現れたのか。

答 行政手続きのオンライン化において、オンラインでの申請受付体制を構築した。430のWebフォームが作成され、7万4000件の受付件数があった。また、RPA技術(ロボットによる業務自動化)の活用では、定形業務の自動化によって令和3年度は約600時間の業務削減効果があった。

大学連携推進事業による取り組み

問 大学連携推進事業では、シンクタンク事業を行うとあるが、市政にどのような形で反映されているのか見えにくい。大学との連携により地域の課題解決や地域の魅力向上に具体的にどう取り組んだのか。

答 ヘルスツーリズムに資する魅力を掘り起こすために、松本大学と連携し、各地域に存在する地域資源をさまざまな形で調査した。今年度は、庁内の関係部局と報告会を設けて事業展開に向け取り組んでいる。

決算審査(福祉文教委員会)

福祉文教委員会では、決算審査はPDCAサイクルにおけるCheck(評価)として重要であることから、予算と決算の連動、過去の政策提言や市民意見からの検証といった視点で審査することを確認しました。加えて今回は、コロナ禍での事業実施状況も論点として審査に臨みました。主な質疑は以下のとおりです。

コロナ禍での子ども貧困対策について

問 困窮者支援事業として、就労支援・家計相談支援・学習支援があるが、どのような対策をとったのか。

答 生活困窮者相談員を1名増員し対応している。就労・家計支援についてはプランを作成して支援を実施してきたところである。学習支援においては、放課後児童クラブや子ども食堂開設事業者と連携を取りながら支援を進めてきた。今後も相談員の丁寧な対応と各団体と連携を取りながら推進していく。



高額介護サービス費貸付基金について

問 高額介護サービス費貸付基金は、高額介護サービス及び高額介護予防サービスを受ける者に對し、一部負担金の限度額を超える額の支払いに必要な資金を一時貸し付けるために設置されたものであるが、実績がないことから検討が必要ではないか。

答 高額介護サービスの利用件数15,016件、負担金総額で約1億7千万円あるが、約3ヶ月後には、償還金として返金されることから、貸付を申請する方がいないものと捉えており、当基金は廃止する。

決算審査(産業建設委員会)

産業建設委員会では決算審査を行うにあたり、第八次総合計画に掲げる、荒廃農地や耕作放棄地の再生による農地の有効活用、新たに農畜産業を志す就農者の確保や、後継者の育成、政策提言を行った森林環境譲与税の使途の拡大についてなどを中心に、予算から決算への連動、コロナが事業に与えた影響についても視点として審査に臨みました。主な質疑は以下のとおりです。

美しい農村、田園風景が保全できるよう取組の強化を

問 農地集積協力者に対する助成は予算540万円に対して決算額178万円で、前年決算の半分であり実績面積も半分である。その理由は。

答 実績としては新規就農者の方を加えると25件、約10.8ヘクタールという状況になっている。集積については毎年農家の皆様に意向調査のアンケートをとっているが要望が少なかった。



森林環境譲与税の使途

問 境界の明確化、部分的な整備、さらには委託料、工事請負費について、森林環境税の対応はどのように行ったのか。

答 令和3年度の森林環境譲与税の使途については、市民に広くお知らせするという事で決算額をホームページに上げた。事業としては、100年先の森林づくりの整備事業の中で森林境界調査事業、災害に強い森林づくりのための重点区域森林整備、森林情報管理システムの構築を行った。また、これらを進めるためのマンパワーということで、林業事業者から3名の職員派遣をいただき森林経営管理アドバイザー等の配置に充てたほか、林業の担い手育成事業において、林業就業者の移住支援として3名の方へ支援を行った。

9月定例会

一 般 質 問

9月定例会では12人の議員が市政に対する一般質問を行いました。
今回は、田中新市長の市政運営の考え方についての質問が多くなされました。

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質するとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

一般質問は、充実した能率的な議会運営を行うため、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。



市議会ホームページ
令和4年第6回定例会
一般質問通告書はこちら
からご覧いただけます



一般質問は、一問一答を基本とし、質問のみで1人40分としています。



QRコードから各議員の一般質問をご覧いただけます。
配信は会議録が調製され次第終了します。
(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

市長公約の宿泊税の 考えについて

創政・改革クラブ
岩垣和彦



問 観光振興のための「宿泊税」の導入について言及されている。この宿泊税は、国税庁など合法との見解を示しているが、高山市は約1.5億円余りの入湯税全額を観光振興に充てている。全国的に宿泊税導入を検討している自治体も増加する一方で見合わせる自治体も増えている。コロナ禍で打撃を受けた飛騨高山の観光の魅力に一層磨きをかけるためには、観光に特化した財源確保に拘るより、市民所得を増加させ市税の増収を図り、そこで増加した財源を観光振興に充当するべきと考えるが見解は。

答 これまで以上に観光振興をしっかりと行っていく必要があり、DMOやDMCを機能させることが大前提と考える。その中で新しい観光振興団体で財源が必要な場合にひとつの財源として宿泊税も考えられる。今後、宿泊税導入ありきで進めるつもりは全くない。まずは観光振興団体の組織づくりが前提であり、今後、おおいに議論したい。



新市長は新火葬場候補地選考 における検証と疑惑解明を

創政・改革クラブ
倉田博之



問 真光教団は「新火葬場候補地の寄付は市からの打診だ。」と新聞取材で証言。これにより市の否定前言は覆り、選考における特定の意図を認めうる結果となった。市の選考基準は市民感覚と合致せず、他の建設地を求める声は非常に多い。会派調査では、経路斜度や積雪量など大萱候補地の多くの不適合性が数値的に判明し、選考の合理的事由は崩壊した。新市長の考えは。

答 選挙期間中も発言した通り、今一度経緯を検証する。事実関係を明らかにし身内びいきなく課題を洗い出して、立ち止まり再考する選択肢も持って丁寧に対応する。



あえてコンパクトシティを 目指さないまちづくりとは

創政・改革クラブ
中田清介



問 急激な人口減少社会では、地域のもつ豊かさを再評価して健康志向と恵まれた環境の活用で社会生活の活力を維持する事が必要。それにコンパクトシティの理論を絡める事で、まさに「小さくてもキラリと光るまち」を志向する事である。また、その為の具体策の提示が必要である。確固とした構想は固まっているのか。

答 ある程度のコンパクト化は必要があると思うが、極端な集約化については避けたい。人口減少や少子高齢化の進展を見込み、それに起因する人手不足の深刻化や、経済の縮小、地域コミュニティへの影響等を考慮して、高山だからこそできる持続可能なまちづくりを目指したい。



農産物価格の 低迷打開策について

清和クラブ
松山篤夫



問 農家の経営が厳しさを増している。生産資材が値上がりする一方、コメをはじめとした農産物の価格低迷のためである。高齢化が進む中、経営の悪化などで離農者が増え、作付面積の減少につながる恐れがあるが、市の対応策は。

答 米に関しては令和3年産米概算金が前年比86.4%となっており、厳しい状況にある。国の肥料価格高騰対策事業の対象外の水稻農家に対し、肥料高騰額の1/2を支援する水稻肥料価格高騰対策事業を今議会で上程している。営農が継続できるように市としてできる対策は積極的に取り組んでいく。



市長公約「いつまでも住み続けることができる環境の整備」での支所地域振興策は

清和クラブ
車戸明良



問 支所地域は人口減少や高齢化がさらに進み、地域の存続や自らの暮らしについて不安を抱かれる中、支所地域の地域振興は市政運営の中でも重要課題だ。暮らしを守り、地域の活気づくりの取り組みは。

答 徹底した地域課題の把握に努め、本庁と支所をつなぎ、有効な政策を立案していく組織「地域振興課」を設置し進める。今一度、それぞれの地域の特色を活かし取り組む。あえて「コンパクトシティ」（生活圏を中心に集約するまちづくり）を目指さないことに挑戦し、新しい組織をカンフル剤として、できることから一つずつでも成功事例を積み重ねていく。



丹生川秋マルシェ

多様性を尊重し合える社会の構築について

無党派
小井戸真人



問 日本ではLGBTQの当事者が概ね8～10%の割合であるといわれており、LGBTQの問題への対応についても多様性を尊重し合える社会を構築するための重要な取り組みであると考えますが、市長の考えは。

答 色々な価値観の中でLGBTQ等の価値観が黙殺されることはあってはならない。多数の方々の価値観で少数の方々の選択権を奪わないという考えを施策に盛り込みたい。多様性のある社会だからこそ活性化していくと考えている。



男性トイレにサンタリーボックス設置を

高山市議会公明党
山腰恵一



問 前立腺がんや膀胱がんなどの疾病や高齢化に伴い尿漏れパッドを使用する男性が増えている。そのため公共施設の男性トイレにサンタリーボックス(汚物入れ)を設置する動きが広がっている。市の現状と設置する考えは。

答 市役所1階のトイレや飛騨の里の一部トイレに設置しているが、多くの公共施設や公衆トイレには設置していない状況である。同ボックスを必要とする市民は男女共用の多目的トイレを使っている。今後、施設利用者のご意見を聞いた上で、どこに、どのようなものが必要なのか検討する。



幼児期の教育・保育のサービス水準

高山市議会公明党
中箴博之



問 来年4月には子ども家庭庁が発足する。急速に少子化が進む中で、市として幼児期の教育・保育のサービス水準の維持向上をどう図るのか、思いのあるビジョンと意志ある働きかけが必要ではないか。

答 幼児期は生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期である。その教育・保育については、量的な受け皿の確保とともに、質の向上への転換も求められており、認定こども園を含む教育・保育サービスのあり方を十分検討する中で、次期「子どもにやさしいまちづくり計画」に反映していきたい。



荘川町六厩における 産廃計画について

たかやま自民クラブ
中谷省悟



問 当計画は、10ヘクタール以上の面積に26年に及ぶ間246万トンの産業廃棄物を埋め立てる計画である。豪雨や地震など想定外の大災害が懸念されるため、容認できない。多くの地域、多くの住民が反対する当計画についてどう考えているか。

答 八次総における荘川地域まちづくりの方向性に合致するものではなく、有数の豪雪地帯であり大量の雨が降る厳しい自然環境であること、貴重な生態系の破壊、風評被害の発生、事業に対する住民合意が困難であることなど、多くの課題がある現状において、最終処分場の建設地として荘川町六厩地区は、適地ではないと考えている。



荘川町惣則

共助の力で誰も取り 残さない避難行動を!

たかやま自民クラブ
西田 稔



問 避難行動要支援者台帳に約1,700名の登録があるが、個別避難計画策定の課題は何か。

答 避難所にいかにして要支援者を避難させるかを優先して検討しているが、トイレや食事、プライバシーの確保などの配慮の検討が不十分であり、また高齢者世帯が増えている中、個別避難計画策定数が増えていないことが課題である。

問 避難行動要支援者台帳への記載をためらう人についてどう対処するのか。

答 広報やFM放送、HPでの周知に加え、民生委員や福祉サービス総合相談支援センターの相談員による戸別訪問の強化により課題解消を図る。



介護職員等の人材不足 解消対策について

たかやま自民クラブ
榎 隆司



問 介護職員等の人材不足対策として、公的な制度(経済連携協定に基づく外国人介護福祉士候補者の受入れ等)の活用や専門学校と連携する考えは。

答 介護に関する入門的研修を開催するとともに、介護職員の人材不足に歯止めをかけ、適切なサービスが提供できるよう、公的制度的活用や専門学校との連携を含め、介護人材確保について検討を進めていく。



「高校生までの医療費 無料化」の早期実施を

無党派
上嶋 希代子



問 今回の新市長の所信表明で「高校生までの医療費無料化」を言われているが、子育て世代にとって医療費は後回しにはできない。今の経済状況をみたと、行政の経済的支援は緊急を要するものとする。今の高校3年生は半年もすると卒業する。早急な対応を求めたい。

答 高校生の医療費無料化については、出来るだけ早い時期に実施できるよう医師会などとも調整を進め、継続的事業としてできるように取り組む。



9月定例会 議案審査

議案審査(総務環境委員会)

高山市副市長定数条例の一部を改正する条例

問 副市長を2名体制とするメリットと懸念することは。

答 高齢化など地域課題が増えている中で、ウィズコロナ・アフターコロナと言われる社会の構築に向け、副市長が市長を補佐し今まで以上に地域課題を把握し、課題解決に向けた体制をとっていく。また、日頃から情報共有や定期的な打ち合わせを行い、事務処理に遅延が起きないように努めていく。



議案審査(福祉文教委員会)

ペレットストーブの購入

問 ペレットストーブ本体やペレット燃料を地元で調達することが難しい状況の中で、今後もペレットストーブを導入する方針なのか。

答 地産地消、更には地球温暖化の抑制にも資することから導入を進めてきたが、寒冷地の暖房の効率性も含め、適時検証しながら進めていく。



議案審査(福祉文教委員会)

調停の成立

所有権確認等請求事件調停事件において、高山市を含む3者において調停を成立させようとするもの。

問 無電柱化工事時の境界確認漏れの市の責任及び今後の工事対応について、どのように考えているのか。

答 初期対応から今日に至るまで、市に落ち度があり、大変反省をすべき事案であると捉えている。A氏・B氏の両氏には多大な労力をかけてしまったと認識している。今回の調停の案で収めることになり感謝している。今後の是正工事については、しっかり丁寧に説明をしながら行っていく。

※以上の説明を受け、委員からは、どんな工事でも初期段階での確認をしっかり行い、再発防止に努めるよう意見がありました。

議案審査(産業建設委員会)

高山市企業立地促進条例の一部を改正する条例について

問 今後の企業移転の見通しは。

答 今回情報サービス部門が追加されてきた。情報サービス部門は、ITやクリエイティブな産業であり、働く場所や企業の立地場所の自由度が高まる。また、市内の産業にとってもデジタル技術を活用した分野は、地域経済構造分析の結果からも、外部に依存している部分である。法の改正等も踏まえて、一つでも多くこういった企業が立地するよう取り組みたい。



9月定例会補正予算審査

新型コロナウイルス感染症対策関係、原油価格・物価高騰対策関係等の補正予算を審査しました。

◆令和4年度高山市一般会計補正予算第5号
約7億3千万円

新型コロナウイルス対策関係

- ・国内観光、海外誘客プロモーション事業
- ・ふるさと暮らし・移住促進事業補助金の増額
- ・関係人口創出・短期人材受入支援事業
- ・地域買い物支援事業

原油価格・物価高騰対策関係

- ・公共施設の電気使用料、燃料費等の増額
- ・下水道事業会計負担金等の増額
- ・障がい福祉サービス事業所、介護保険事業所等へのサービス継続支援
- ・水稻肥料価格高騰対策事業
- ・自給飼料生産拡大支援事業

■主な質疑

問 地域買い物支援事業は移動スーパーの実施に必要な自動車費用を助成するものだが、移動スーパーの現状と見込、今後の買い物弱者への対策は。

答 移動スーパーは、5事業者により7台が運行され、支所地域では、丹生川・荘川・高根を除いた地域で運行されている。また、既にこの補助制度を使って事業を実施したいとの意向を伺っている。



地域により状況は様々なので、地域の皆様と話し合い、その地域にどのような買い物支援のあり方がいいのかしっかりと捉え考えていく。

問 水稻肥料価格高騰対策事業は、国の事業の要件を満たさない市内水稻生産者への市の単独助成だが、国の事業から外れるのはどういう方で、何件くらいを想定しているか。

また、蔬菜類については、高騰分の1/2は国から助成されると確認して進めているのか。

答 国の事業の対象には、5名以上のグループ化と化学肥料を低減する取組を2つ以上行う要件があり、小規模な水稻生産農家は対象にならないことや米の概算金が下がっていることも考慮した。

国の事業から外れる市の対象農家は約2,500件と想定している。蔬菜農家等については、それぞれ生産出荷組合などが組織化されており、国の事業の対象になると考えている。



9月定例会 議案審議 (追加議案)

副市長の選任について

問 西倉氏は長年副市長の重責を担ってきただけに、「変えていくところは変えていく」という田中新市長の市政運営のハードルになるのではないかと。

答 今後の市政運営に当たり、私が選挙期間中に訴えてきた事柄や私が考える行政運営の手法などについては十分話をしており、理解を得ている。

ごみ処理施設敷地造成工事請負契約の締結

問 一回目の入札が不調となった後に、事業者からどのような意見があったのか。

答 工事の品質や安全の確保、建設業界の担い手の育成を行う必要がある。また、会社を運営するための適正な利益の確保も必要である。



議員間討議

議会と執行部との情報共有を論点として議員間討議を行い、事業者や市民の意見をしっかりと把握することが大事である、関係者との信頼を構築することが大前提であり、今後はそういったことに留意しながら事業を進めるべきである、担当の常任委員長を通じて、議会へ相談し、開示する部分はしっかりと開示するべきである、といった意見が交わされ、議会として以下の3点について執行部側に申し伝えました。

- ・公契約条例に則した適正な対応を行っていくこと
- ・民間、市民、事業者の意見をしっかりと聞くこと
- ・必要な情報については、議会側と十分に共有を図ること

9月定例会 上程議案一覧表

市長提出議案

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
報第14号	損害賠償の額の決定の専決処分について	—	報告終了
報第15号	継続費精算報告書（一般会計）について	—	報告終了
報第16号	継続費精算報告書（水道事業会計）について	—	報告終了
報第17号	継続費精算報告書（下水道事業会計）について	—	報告終了
認第 1号	令和3年度高山市一般会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第 2号	令和3年度高山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第 3号	令和3年度高山市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第 4号	令和3年度高山市学校給食費特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第 5号	令和3年度高山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第 6号	令和3年度高山市観光施設事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第 7号	令和3年度高山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	予算決算特別	原案可決
認第 8号	令和3年度高山市水道事業会計利益の処分及び決算について	予算決算特別	原案可決
認第 9号	令和3年度高山市下水道事業会計決算について	予算決算特別	原案可決
議第54号	高山市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第55号	高山市企業立地促進条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第56号	財産（ペレットストーブ）の取得について	福祉文教	原案可決
議第57号	調停の成立について	福祉文教	原案可決
議第58号	令和4年度高山市一般会計補正予算（第5号）	予算決算特別	原案可決
議第59号	令和4年度高山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算特別	原案可決
議第60号	令和4年度高山市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算特別	原案可決
議第61号	令和4年度高山市観光施設事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算特別	原案可決
議第62号	令和4年度高山市水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算特別	原案可決
議第63号	令和4年度高山市下水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算特別	原案可決
議第64号	副市長の選任について	—	同意
議第65号	教育委員会委員の任命について	—	同意
議第66号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	同意
議第67号 ～議第81号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	同意
議第82号	高山市副市長定数条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第83号	令和4年度高山市一般会計補正予算（第6号）	予算決算特別	原案可決
議第84号	ごみ処理施設建設敷地造成工事請負契約の締結について	—	原案可決
議第85号	副市長の選任について	—	同意

9月定例会の議案賛否一覧

9月定例会における各議員の賛否は次のとおりです。
 この他の議案においては、いずれも全員一致で可決・同意しました。

	片野 晶子	水野 千恵子	石原 正裕	笠原 泰輝	西本 彰	松林 省悟	中谷 寿充	伊東 昭次	谷村 稔	西田 光夫	沼津 隆司	山腰 恵一	渡辺 甚一	岩垣 和彦	中箴 博之	倉田 博之	松山 篤夫	上嶋 希代子	車戸 明良	水門 義昭	橋本 正彦	中田 清介	小井戸 真人
認第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
認第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。水門議長は採決に加わりません。

議会閉会中の委員会活動

総務環境委員会

【行政視察】

令和4年7月28日～30日

当委員会では、委員会の政策課題であるDXの推進、自然環境に配慮した先進的な環境モデルとなるような地域づくりに向けた環境政策、防災などについて調査研究を進めています。7月28日から30日にかけて、先進地を訪問し、高山市との比較や課題等を調査しました。

■DXの推進について【千葉県市川市】

市川市では、令和2年4月に「市川市DX憲章」を策定され、「社会情勢や経済産業等が著しく変化する現代において、社会課題に柔軟に対応し多様化する住民ニーズに応えるきめ細かなサービスの提供を行うためには、自治体のDXの在り方にも変化が求められる。また、デジタル化を進めるだけでなく、業務の効率化を図り無駄を削って新たな価値を創造することを目指す」とされております。

高山市でも、DX推進計画を策定し取組を進めようとしており、委員会では、こうした市川市のDX推進の取り組みを参考に調査研究を進めていきます。

■消防団地域防災力充実強化ビジョンについて【栃木県鹿沼市】

鹿沼市では、令和4年3月に消防団地域防災力充実強化ビジョンを策定されています。これは、地域防災の要である消防団員の現状は、少子高齢化の進展やなり手不足などの課題がある中、近年の災害は多様化・激甚化しており、求められる消防団活動の多様化など、消防団を取り巻く情勢は一層厳しさを増しており、新たなステージに対応した地域防災を構築する必要があるため策定されたものです。

高山市においても、消防団員の確保や団員の負担軽減、自然災害への対応などが課題と捉えており、鹿沼市の取組を今後の調査研究に活かしていきます。



■環境配慮型トイレ現地視察【東京都江東区】

大規模な設置例として調査を行った豊洲にあるTHE BBQ BEACH in TOYOSU内の自己処理型トイレは、1日5,000回使用しても問題や悪臭について確認されなかったということであり、今後、当市の山岳観光におけるトイレ問題の解決や循環型社会の実例として継続的に調査研究を行っていきます。

■武蔵野クリーンセンター現地視察【東京都武蔵野市】

見学経路や展示・内観はいずれも洗練され、これまでのごみ処理施設のイメージを払拭させる施設でした。市民が施設を身近に感じ、迷惑施設ではなく、憩いの場としての活用が行われていました。

福祉文教委員会

【行政視察】

令和4年7月25日～27日

当委員会では、委員会の政策課題として、子ども・子育て、高齢者、教育、文化振興、市民活動の5項目について調査研究を進めています。7月25日から27日にかけて、先進地を訪問し、高山市との比較や課題等を調査しました。

■男女共同参画の取り組みについて【東京都調布市】

「男女共同参画推進プラン(R4～R8年度)」を作成し、策定の視点として①固定的な性別役割分担の解消に向けた意識づくり、②社会環境の変化を踏まえた取り組み、③SDGsの「誰一人取り残さない社会」「ジェンダー平等を実現」を踏まえた計画で、基本理念である「未来に向かって進めよう、ともに参画するまち」の実現に向け進捗されています。特に京王線国領駅北口のビルに、「市民活動支援センター」「男女共同参画支援センター」「産業労働支援センター」を集約した施設があり、「市民プラザあくろす」として市民の様々な活動拠点となっていることは、今後の高山市の施設整備において参考となるものでした。

■介護支援ボランティア制度、高齢者へのゴミ出し支援【東京都稲城市】

少子高齢化対策が急務となっており、特に介護職の確保は喫緊の課題です。介護職不足対策として介護支援ボランティア制度を全国に先駆けて取り組んでいる内容について、経緯・現状・課題等を確認しました。この取り組みは介護専門職の補助として、健康な高齢者の方々がボランティアとして働くことで地域貢献にも繋がる取り組みとして、また高齢者へのゴミ出し支援についても粗大ゴミや生活ゴミが排出困難な高齢者・障害者等の支援として有効であると捉えました。

■子どもの権利に関する条例について

【東京都中野区】

今年の3月に条例を制定し4月より施行したばかりですが、条例制定に至るまでの経過や制定後の効果、市民参加の状況等について確認しました。特に教育委員会との連携が課題となりますが、中野区では区長部局と教育委員会との連携として事務局組織の中で職員が兼務することで施策の反映が容易になっており、組織体制が重要であると改めて感じました。



■創造及び交流により、まちの活力を生み出す文化振興に関する条例について【静岡県静岡市】

まちの魅力に磨きをかけ活性化を図る文化芸術振興について、条例制定を視野にその可能性を探りました。「まちは劇場」というキーワードの下、伝統文化等を大切にしながら「交流人口の増による地域経済への波及」として「大道芸ワールドカップin静岡」を開催する等、ユニークな取り組みが、行政組織の各部署の連携によって行われていました。また、条例の名称が市長の肝入りで決定された点から、キーパーソンは市長で、文化の敷居を下げてもちの活性化に繋がりたいという思いの強さを感じました。

【現地視察】

■適応指導教室「であい塾」 令和4年7月20日

不登校特別分室に関する現地調査を行い、であい塾における職員の配置、特徴的な取り組み、子ども達や家庭の様子について説明を受けました。

■高山市民プール 令和4年8月22日

市民プールの再整備に関する現地調査を行い、再整備の概要及び現状について説明を受けました。



産業建設委員会

当委員会では、今後の産業政策の柱としての観光と地域の均衡ある発展とその持続可能性、環境政策と1次産業の振興についてを重点調査項目とし調査研究を進めています。7月31日から8月2日にかけて、先進地を訪問し、高山市との比較や課題などを調査しました。

■再生可能エネルギーによる地域社会実現【北海道上川郡下川町】

下川町は、2008年7月に環境モデル都市に認定。ついで環境未来都市に選定され、経済・環境・社会のバランスのとれたまちづくりを目指してきました。2018年にはSDGs未来都市にも選定されました。

現在、木質バイオマスエネルギーの活用で公共施設の熱供給の68%を再生エネルギーへ転換しています。また、木質原料製造施設を町内で設立して生産を行っており、市民と共に持続可能なまちづくりに取り組んでいます。一の橋バイオビレッジでは、熱供給施設を中心に町営住宅や菌床椎茸栽培に活用したり、農山漁村再生可能エネルギー法を活用し、バイオガспラントとして家畜糞尿からの発電を導入し、同時に良質な肥料を再生するなど環境都市の歩みを実践しています。

高山市においては、平成28年1月に高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会から提出された「高山市自然エネルギーによるまちづくりに関する提言書」について、その後の行政施策の検証を行い、将来のビジョンを整理する必要性を感じました。



■富良野ビジョン2030【北海道富良野市】

富良野市は激変する経済環境を見据えて、2018年度に観光政策の指針となる「富良野ビジョン2030」を策定し、バックキャストिंगの手法で活動を行っています。

アクションプランとして、予定期間を3期に分け、第2期（インバウンド回復前後のアクション）以降の目標を次の3点とし、取り組んでいます。

- ①ウイズコロナにおける観光誘客（宿泊獲得）戦略
- ②マーケティングに基づいた顧客プロモーションと分析
- ③エリアが一体となった持続可能な観光地モデルの形成

観光は一部の観光関連事業者のためのものではなく、幅広いステークホルダーと共に磨き上げていくものであり、今後の政策提言に向けて広く意見を聴取しながら進めていきたいと考えています。

広報広聴委員会

当委員会では、議会広報誌の発行や議会モニター、市民意見の常任委員会への振り分け等を継続して実施しています。さらに本年度は、広報広聴機能の強化を図るための施策について検討・協議中です。

■地域別市民意見交換会

今年度の開催に向けて、開催方法などについて委員会で協議を行いました。詳細は、16ページ(裏表紙)をご覧ください。

■高校生との意見交換会

新型コロナウイルスの影響により2年間中止していました高校生との意見交換会については、今年度の開催に向けて、従来の開催方法を変更し、参加される各高校のスタイルに合った対応を検討するため、各高校を訪問し、先生方のご意見を伺いながら委員会で協議を行っています。

「市民とともに考える議会」の責任を果たすためにも、より多くの市民の皆様との対面による対話を通じて広報広聴機能の充実を図りたいと考え、調査を進めています。

市議会

産業廃棄物最終処分場計画調査
特別委員会

富山の業者が荘川町六厩に建設を計画する産業廃棄物最終処分場について、水質・処理技術・法制など幅広い見地から客観的調査を進めます

産廃処分場とは？

全国から産業廃棄物を搬入・埋め立て

- ・一般廃棄物とは違って、さまざまな事業活動の中で排出される廃棄物を全国から搬入し、埋め立て処分



どんなものを埋立てる？

アスベスト・水銀含有物・ばいじん等

- ・燃え殻・汚泥・廃プラスチック類・ゴムくず・金属くず・動物の糞尿・動物の死体・廃石綿等
- 自動車破砕物・石綿含有廃棄物・水銀使用製品廃棄物・水銀含有ばいじん

どれくらい埋立てる？

毎日10トントラック30台で26年間

- ・総埋立て量 246万㎡
- ・埋立て期間 2026年～2051年



安全性は？

- ・水源・水質を含む環境保全 厳寒下での浸出水処理は？ 下流域への影響は？
- ・盛土の防災上の安全性？
- ・埋立完了後の管理責任は？

処理水は六厩川の支流の谷へ放流

- ・浸出水処理能力 500㎡/日
- ・近年の豪雨や極寒の中での処理能力
- ・遮水シートで浸出水はすべて食い止めることができるのか
- ・下流域の河川への影響

盛土崩落の懸念は消えない

- ・近年の豪雨や地震で熱海のような大規模な土砂崩れの危険性は無いのか

埋立完了後も産業廃棄物は残ったまま

- ・埋立が完了して稼働停止した後の地域の安全は誰が責任を負うのか

法律や条例への適合は

住民投票条例、県の手続き条例、水源管理条例

- ・住民投票条例による強い意思表示
- ・強化された盛土規制法
- ・県の手続き条例、市条例に基づく大規模開発構想

荘川を守れ

令和4年 高山市議会 12月定例会日程(案)

開会日	曜日	会 議 内 容		場 所
1	木	午前9時30分	本会議（提案説明、質疑、委員会付託）	議 場
6	火	午前10時	一般質問通告締切	
7	水	午前9時30分	常任委員会（議案を付託された委員会）	各委員会室
9	金	午前9時30分	本会議（一般質問）	議 場
12	月	午前9時30分	本会議（一般質問）	議 場
13	火	午前9時30分	本会議（一般質問）	議 場
		本会議終了後	議会運営委員会	全員協議会室
15	木	午前9時30分	総務環境委員会	全員協議会室
16	金	午前9時30分	福祉文教委員会	全員協議会室
19	月	午前9時30分	産業建設委員会	全員協議会室
20	火	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
21	水	午前9時30分	本会議	議 場

  このマークが付いている日はインターネット・ケーブルテレビで中継します。

友好都市上山市を訪問

7月14日、15日に水門議長をはじめとする8名の議員が、友好都市山形県上山市を訪問しました。上山市では、「高山藩と、上山藩と。」と題し、両市の地政学等についての講演を聴講し、両市の歴史などを学びました。また、上山市議会の皆さんと意見交換を行い、交流を深めました。



相互交流の一層の推進へ (ルーマニア シビウ市)

7月11日、ルーマニア シビウ市と高山市の友好都市提携10周年を記念する式典が、オンラインで開催され、水門議長が出席しました。式典では、今後、文化・芸術など様々な分野での更なる交流促進を図っていくことについての共同声明が読み上げられました。

10年間市民交流などで培ってきた友情と信頼の絆がより深まり、さらに新しい広がりへと踏み出せるよう、市議会も支援してまいります。



ぎかいだよりの表紙写真を 募集しています

市民の皆様に議会広報紙がより身近なものとなるよう、ぎかいだよりの表紙写真を募集しています。

募集要項は、市議会ホームページでも確認できます。また、お問合わせにより、事務局から募集要項などを郵送(ファックス)させていただきます。応募は、個人に限らず、団体や学校等で撮影いただいたものでも可能です。(詳しくは募集要項を参照ください。)

多くの応募をお待ちしています。

◆次号令和5年2月1日発行のぎかいだより第50号の表紙写真の募集締切は令和5年1月6日(金)です。

◆申し込み・問合わせ

高山市議会事務局

TEL 0577-35-3152

FAX 0577-35-3170

mail:gikai@city.takayama.lg.jp



令和4年度 地域別市民意見交換会

市議会では、地域別市民意見交換会を通して政策課題の芽をいただく貴重な機会と捉えています。市民の代表機関として、市民と情報を共有し、市民の意見を市政に反映させることに合わせ、議会の行う活動が市民福祉の向上につながることを重要であると考えています。今年度は、コロナ禍での市民生活等への影響についてや、その他の地域課題について意見交換会を行います。また、議会BCP（事業継続計画）や長期欠席議員の報酬支給停止等について報告します。

期 日	開 催 地 区	場 所	担当班	開始時間
11月 8日(火)	山王地区	山王小学校 会議室	2	午後7時
11月 9日(水)	北地区	北小学校 第2体育館	7	
11月10日(木)	花里地区	花里小学校 特別活動室	6	
11月11日(金)	一之宮地区	一之宮公民館 第1研修室	6	
11月15日(火)	奥飛騨温泉郷地区	奥飛騨総合文化センター 会議室A・B	7	
11月16日(水)	南地区	南小学校 多目的室	4	
11月16日(水)	清見地区	清見支所3階 大会議室	8	
11月16日(水)	丹生川地区	丹生川文化ホール 1階 研修室	1	
11月17日(木)	江名子地区	江名子小学校 第2体育館(2階)	1	
11月17日(木)	久々野地区	久々野支所 多目的室	4	
11月21日(月)	新宮地区	新宮公民館	8	
11月22日(火)	高根地区	高根支所	7	午後7時
11月24日(木)	東地区	高山市図書館 生涯学習ホール	3	
11月24日(木)	朝日地区	燦燦朝日館	2	
11月25日(金)	大八地区	東山中学校 第2体育館	6	
11月25日(金)	国府地区	交流センター 多目的室	5	
11月28日(月)	荘川地区	荘川総合センター 会議室2,3	5	
11月29日(火)	上宝地区	上宝支所2階 大会議室	4	
11月29日(火)	西地区	西小学校 マルティ	3	
12月14日(水)	三枝地区	三枝小学校 多目的室	5	

担当議員一覧

所属委員会 **総**: 総務環境委員会 **福**: 福祉文教委員会 **産**: 産業建設委員会

1班	谷村 昭次	産	車戸 明良	福	岩垣 和彦	総	5班	中谷 省悟	福	松山 篤夫	産	渡辺 甚一	総
2班	松林 彰	総	榎 隆司	福	片野 晶子	産	6班	西本 泰輝	産	沼津 光夫	総	水門 義昭	福
3班	石原 正裕	総	倉田 博之	福	橋本 正彦	産	7班	小井戸真人	福	笠原 等	産	山腰 恵一	総
4班	西田 稔	産	中箴 博之	福	伊東 寿充	総	8班	上嶋希代子	福	水野千恵子	総	中田 清介	産

※都合により担当委員が交代することもあります



編集後記

議会とは「^{かいてぎする}会して議する」場所です。

そこで、「議する」とは漢字源辞典などでは「かどめをつけて話し合う。筋道や理屈に沿って話すこと。良し悪しの判断によって適宜に区切りを付けるなど」と解されています。

令和4年9月定例会の最終日では、この原則手順によらず、議案による事業実施の状況に特段の配慮を重ねました。少し、丁寧に説明することで市民的な理解を深めさせていただきたいと思います。状況は、次の様になります。

①市役所・本会議で提案と説明→②本会議質疑→③明確な論点から、議員間で討議をする→④本会議で、すぐさまに採決し賛成可決→⑤議案の決定過程における検証から、意見を付す(附帯意見)。特に、②から⑤が特徴的な過程でした。もちろん、疑わしき視点は質すとの変わること無き基本軸があり、経過状況説明の資料や議員各自での独自調査を踏まえ、議員質疑では一問一答形式で10項目以上の問いに及びました。

これらは柔軟的でありながらも、「かどめを付けた」議会の取組でもありました。

議案提出当日の審議で直後の採決でも、「議を^{きつくす}尽くす」、もしくは「議に^{きくとうてんうつ}句読点を打つ」強い意識と姿勢から、今後の新しい市政運営の風土に大きな期待感を持っています。

